Creative Enzymes®

ネイティブラビットクレアチンホスホキナーゼ

Cat. No. NATE-0138

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	クレアチンキナーゼは、間欠的に高く□動するエネルギー要求を持つ細胞のエネルギー代謝において重要な役割を果たします。このような細胞の例には、心筋や骨格筋細胞、脳や網膜の神□組織が含まれます。この酵素は、ATPを生成するために、リン酸クレアチンからADPへのリン酸基の可逆的な移動を触媒します。1 このタンパク質の分子量は約80 kDaであることがわかっています。これは、各サブユニットの分子量が40 kDa ± 2000の2つのサブユニットで構成されています。□いサブユニットは、より多くの量で存在します。
用途	分子量: ~81 kDa クレアチンホスホキナーゼは、主に骨格筋由来のホモダイマー（MM）で構成される二量体です。CKは心筋において特にヘテロダイマー（MB）としても存在します。脳組織由来のCKは、主に脳由来のホモダイマー（BB）で構成されています。M鎖とB鎖のアミノ酸配列は約80%の相同性があります。配列から、M鎖の分子量は43,112です。
別名	EC 2.7.3.2; ATP:クレアチンホスホトランスフェラーゼ; CK; CPK; MM-CK; MB-CK; BB-CK; クレアチンキナーゼ; クレアチンホスホトランスフェラーゼ; ホスホクレアチンキナーゼ; アデノシン三リン酸-クレアチン転移リン酸化酵素; Mi-CK; CK-BB; CK-MM; CK-MB; CKMiMi; MiMi-CK; 9001-15-4

製品情報

種	ウサギ
由来	ウサギの筋肉
形態	塩不使用、凍結乾燥粉末。
EC番号	EC 2.7.3.2
CAS登□番号	9001-15-4
活性	> 150 ユニット/mg タンパク質
最適pH	前向き反□のpHは8.8-9.0、逆反□のpHは6.0-7.0です。
阻害剤	ADPはATPと競合する前方反□の強力な阻害剤です。Ca2+（Ki=4.5 mM）、Zn2+、Cu2+などの二価カチオンは、Mg2+と競合することによってCKを阻害します。他の阻害剤には、アセテート、アセチルサリチル酸、アデノシン、p-アミノサリチル酸、AMP、ベンゾ酸、重炭酸塩、臭化物、塩化物、p-クロロ水銀ベンゾ酸、エチレンオキシド、2,4-フルオロ二硝基ベンゼン、ヨウ化物、マロン酸、NAD、硝酸塩、リン酸塩、ピロリン酸塩、サリチル酸、硫酸塩、亜硫酸塩、チロキシン、トリクロロ酢酸、L-トリヨードサイロキシン、L-トリヨードサイロニン、及びトリポリリン酸が含まれます。
緩衝液	0.25 M グリシル-グリシン、pH 7.4: 可溶性 5.0 mg/mL、透明、無色からわずかに黄色
単位定義	1ユニットは、pH 7.4、30°Cで、ホスホクリエチンからADPに1.0 µmoleのリン酸を1分あたり転送します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C